

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【公開番号】特開 2021-49993 (P2021-49993A)
【公開日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)
【年通号数】公開・登録公報 2021-016
【出願番号】特願 2021-1423 (P2021-1423)
【国際特許分類】

B 6 0 N 2/64 (2006.01)

B 6 0 N 2/90 (2018.01)

A 4 7 C 7/40 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/64

B 6 0 N 2/90

A 4 7 C 7/40

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着座者を背側から支持するシートバックを備える車両用シートであって、
前記着座者を支持する樹脂支持部材と、
前記シートバックのうち、前記着座者の肩を支持する肩支持部が、流体が封入されることにより膨出する袋体と、を有し、
前記袋体は、シート正面視左側に配置される左袋体と、シート正面視右側に配置される右袋体と、を含む左右袋体であって、
前記左右袋体は、前記樹脂支持部材のうち、上方に延出し、上端から下方に向かって形成された切り欠きによってシート左右方向に分離された部分にそれぞれ当接して、前記着座者の肩を支持するように配置されていることを特徴とする車両用シート。

【請求項 2】

前記左右袋体の各々は、上端部が水平方向に対して斜めに傾いて配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用シート。

【請求項 3】

前記樹脂支持部材のシート幅方向における外側には、側方エアセルが左右別個に設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の車両用シート。

【請求項 4】

前記樹脂支持部材は、シート幅方向における外側かつ上方に向かって延出した側部延出部を有し、
前記側方エアセルは、前記側部延出部の下側に配置されていることを特徴とする請求項 3 に記載の車両用シート。

【請求項 5】

前記側方エアセルは、シート幅方向における内側の上部及び下部に突出部を有し、前記突出部の間に凹部が形成されていることを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の車両用シート。

【請求項 6】

前記シートバックは、側部に配設される側部フレームを含むシートバックフレームを有し、

前記側方エアセルは、前記側部フレームに取り付けられていることを特徴とする請求項 3 乃至 5 のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項 7】

前記着座者の状態を計測するためのセンサを備え、

前記袋体及び前記側方エアセルの固定位置は、前記センサを避けた位置にあることを特徴とする請求項 3 乃至 6 のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項 8】

前記左右袋体の各々は、被固定部において、前記樹脂支持部材に支持され、

前記被固定部は、シート幅方向において内側に設けられた内側被固定部と、前記内側被固定部よりもシート幅方向において外側に設けられた外側被固定部と、を含み、

前記樹脂支持部材は、結合ワイヤによって前記シートバックのシートバックフレームに取り付けられ、

前記左右袋体の各々の前記内側被固定部は、前記結合ワイヤの前記シートバックフレームへの取付位置よりも、シート上下方向で下方に位置することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項 9】

前記左右袋体の各々は、前記内側被固定部と前記外側被固定部との間に凹み部を備えたことを特徴とする請求項 8 に記載の車両用シート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記課題は、本発明の車両用シートによれば、着座者を背側から支持するシートバックを備える車両用シートであって、前記着座者を支持する樹脂支持部材と、前記シートバックのうち、前記着座者の肩を支持する肩支持部が、流体が封入されることにより膨出する袋体と、を有し、前記袋体は、シート正面視左側に配置される左袋体と、シート正面視右側に配置される右袋体と、を含む左右袋体であって、前記左右袋体は、前記樹脂支持部材のうち、上方に延出し、上端から下方に向かって形成された切り欠きによってシート左右方向に分離された部分にそれぞれ当接して、前記着座者の肩を支持するように配置されていることにより解決される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の車両用シートによれば、左右袋体が、樹脂支持部材のうち上方に延出し上端から下方に向かって形成された切り欠きによってシート左右方向に分離された部分に当接して着座者の肩を支持するように配置されているので、着座者の肩を適切に押さえるのに好適な位置に袋体を配置することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記左右袋体の各々は、上端部が水平方向に対して斜めに傾いて配置されていると好適である。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記樹脂支持部材のシート幅方向における外側には、側方エアセルが左右別個に設けられていると好適である。

【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記樹脂支持部材は、シート幅方向における外側かつ上方に向かって延出した側部延出部を有し、前記側方エアセルは、前記側部延出部の下側に配置されていると好適である。

【 手続補正 7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記側方エアセルは、シート幅方向における内側の上部及び下部に突出部を有し、前記突出部の間に凹部が形成されていると好適である。

【 手続補正 8 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記シートバックは、側部に配設される側部フレームを含むシートバックフレームを有し、前記側方エアセルは、前記側部フレームに取り付けられていると好適である。

【 手続補正 9 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記着座者の状態を計測するためのセンサを備え、前記袋体及び前記側方エアセルの固定位置は、前記センサを避けた位置にあると好適である。

【 手続補正 10 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記左右袋体の各々は、被固定部において、前記樹脂支持部材に支持され、前記被固定部は、シート幅方向において内側に設けられた内側被固定部と、前記内側被固定部よりもシート幅方向において外側に設けられた外側被固定部と、を含み、前記樹脂支持部材は、結合ワイヤによって前記シートバックのシートバックフレームに取り付けられ、前記左右袋体の各々の前記内側被固定部は、前記結合ワイヤの前記シートバックフレームへの取付位置よりも、シート上下方向で下方に位置すると好適である。

【 手 続 補 正 1 1 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

また、上記の車両用シートにおいて、前記左右袋体の各々は、前記内側被固定部と前記外側被固定部との間に凹み部を備えていると好適である。

【 手 続 補 正 1 2 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】